

# 「子どもに安全な保育環境を」

講師：猪熊 弘子 先生

日時：平成29年3月16日(木)13:00～15:00

場所：学校教育館3階 SE - 312

対象：学部生、大学院生、教職員、鳴教会、  
鳴松会、教育後援会(保幼中高大保護者)

参加費：無料

【内容】幼稚園・保育園にはいろいろな役割があり、それに対する親の考え方もさまざまです。しかし、共通しているのは、幼稚園も保育園も「子どもが生まれて初めて関わる社会」であるということ。子どもが生まれて初めて関わる社会である大切な幼稚園・保育園は、その子の個性を尊重し、なおかつ家族のライフスタイルに最もふさわしいものでなければなりません。「子育て困難」と言われる時代に、幼稚園・保育園の意義はますます大きくなっています。子どもが安全安心にのびのびと成長する場であるはずのところに、危険があります。防げる事故は、なくしていかなければなりません。

講師 **猪熊 弘子** (いのくま ひろこ)氏

<現職> ジャーナリスト、東京都市大学客員准教授  
一般社団法人子ども安全計画研究所 代表理事



保育・教育、子どもの安全や施策を主なテーマに執筆や翻訳。『週刊文春』に「ブラック保育」の摘発記事、「保育園落ちた日本死ね」の取材記事などを掲載。NHKテレビ番組などに出演、講演を行なう。4人の子どもの母。著書多数。『死を招いた保育』(ひとなる書房)で第49回日本保育学会 日私幼賞・保育学文献賞受賞。



【お問い合わせ】

担当 西本望(学校教育館3階306) [nozomunn@mukogawa-u.ac.jp](mailto:nozomunn@mukogawa-u.ac.jp)  
大学院文学研究科教育学専攻HP  
(<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~edugrad/>)

